

よつ葉だより

2020年
2月10日号
No.591

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よつ葉生活協同組合

栃木県生活協同組合連合会は創立50周年 「誰一人取り残さない社会づくり」を目指していきます!

栃木県生活協同組合連合会（栃木生協連）が設立されたのは50年前。急激な高度経済成長によって、大気や河川などの環境汚染が深刻な問題として認識され始めた時代でした。そのような中、職域生協（企業が立ち上げた生協）が中心となって、様々な問題を解決して組合員の暮らしを支えていこうと連携がスタート。その後、大学生協や医療生協、地域生協なども参加して、食品の安全性や消費者問題、医療や福祉、男女共同参画など、暮らし全般に関わる問題に取り組むようになりました。よつ葉生協は1986年から生協連の一員として参加。多くの団体と一緒に活動することで、様々な社会的問題の解決に取り組むことができるようになりました。

1998年には、日生協が中心となってすすめた「食品衛生関連法」改正に向けた署名活動に、生協連として取り組みました。多くの団体や組合員が参加し、2003年の法改正へとつなげることが出来たことも、連携による大きな成果です。その後も、大きな社会問題解決のためには、行政や様々な機関・団体との連携が必要と考え、栃木県生協連では消費者ネットワーク、食の安全ネットワークといった活動や、生協間で福祉部会、くらし部会などを立ち上げています。



「栃木県生協連 竹内会長理事」

2019年現在、栃木県生協連には、企業生協、学校・大学生協、県・市の生協、医療生協、共済生協、金福虫生協、地域生協、労働者生協、福祉団体の、12正会員と4賛助団体が加盟しています。それぞれの生協が、その専門性と特色を活かし、自然災害支援、見守り活動を続けています。昨年10月の台風15号、19号被害への支援金を、全国・県内生協が取り組み、一億円を超えた金額を栃木県に渡しています。

2016年に協同組合の思想と実践が評価され、ユネスコ無形文化遺産として登録されました。よりよい社会づくり＝誰も取り残さない社会づくりのために、協同組合の力が求められています。よつ葉生協は、茨城県生協連と群馬県生協連にも参加しています。これからも引き続き、各県で連携を深めた活動に参加していきます。

理事長 倉持



「生協連に加入した頃のよつ葉生協」



2020年度

業務関連委員会の委員を募集します！～よつ葉の商品を知る入口に～

委員会活動は、組合員による活動です。今年度の「商品評価委員会」と「産直委員会」で活動中の委員さんの声をご紹介します。

商品評価委員会(商評)

よつ葉生協に入ったのは、かれこれ27年以上も前ですが、当時は、大人より体が小さく、化学物質や農薬等の影響を子どもは受けやすいし、少しでも体によいものが良いかなという理由プラス、子連れの買い物も大変だし、ドアの前まで運んでくれるのであれば助かるな、という2つの理由で、つまり、かなり軽い気持ちでよつ葉生協の利用を始めました。そういう方も多いのではないかと思います。

商品評価委員会に入れていただいた事で、「くらら」に表示されているGMOマークや☆等に、以前よりしっかりと目を通すようになりました。また、実際によつ葉生協で扱う予定の品を試食し、それを皆で評価する過程で、ただ出資金を出しているのではなく、参加しているのを感じることができます。生協には入っているけれど、もっと知りたい、参加したい、という方はぜひ商品評価委員会に入って活動してみてください。(伊藤直子さん)

商品評価委員を通し、「くらら」に載る商品の一つ一つに気付きを感じるようになりました。以前は自分がいつも注文するものばかりに目が入っていましたが、商評ページのチェックをするうちに「他にもこんなに良いものがあったなんて！」と私の定番商品が増えました。何より、参加して担当職員さんのお話を直に聞けること、ほかの委員の方との情報交換ができることがとても有意義です。この経験を活かし、本当に安全で豊かな食生活を送りたいと思います。(増山恵美子さん)

新商品を調理、試食し、材料や製造工程を確認します。「くらら」の内容もチェックし、感想等を話し合います。どの分野についても学ぶことが沢山あります。知識の少なかった加工食品の製造方法や、材料の詳細を知る貴重な機会になりました。例えば「カラメル色素」の表記の中にも数種類の製造方法があることや、遺伝子組み換えが使われやすい素材とは何か、など、委員会に参加しなければ全く見当も付かなかったような知識が身につけ、日常生活に役立っています。

その他、美味しい魚調理の仕方や、委員の皆がよく注文する商品のこと、会話の中でも興味深い話が沢山できてきます。商品知識が豊富なよつ葉生協の担当者の方々とも関われる貴重な機会だと思います。私は商評に参加してから、毎週の注文が格段に楽しくなりました。(横山 美裕紀さん)



商品部から商品の説明を受けます。今日はお魚の新品です。

いつもは産直委員会と一緒に説明を受けます。この日は、トマト農家の訪問に出かけました。



「くらら」原稿を確認しています。

産直委員会は、P3に続きます！

産直委員会

野菜づくりの背景を通して、様々なことを学びました。毎回の委員会は楽しくて、よつ葉商品をたくさん知れるのでお気に入りが増えました。(飯塚まり子さん)

今まで知らなかった野菜のことを勉強でき、また地元の生産者さんを見学させていただき、さらによつ葉の産直商品が好きになりました。(石川真子さん)

他の組合員さんからオススメの商品を知れたり、たくさん商品の試食ができたり、産地訪問ではいつも写真で拝見するだけの生産者さんから直接色々な話を聞けたり・・・思い切って参加してみても良かったと思います。(高際良美さん)

よつ葉の理念がよく分かったことです。本当の努力が必要であり、得るものが大いにありました、やはりお任せでなくやってみてとお伝えしたいです。(高瀬正代さん)



年に数回、生産者さんを訪問します。ぶどう生産者稲葉さんと(7月)。



参加してみませんか

那 須

『日本在来の「森の日本蜜蜂」とおつきあいしてみませんか
～今回は待ち箱を作りましょう』

よつ葉生協のサークル活動です！



- *和蜂について
野生の蜜蜂の生態について・この1年間の付き合い方の講義です。
- *待ち箱作り（重箱式待ち箱4段1式、屋根、底板も含む）ひとりひとり、当日完成させて持ち帰ります。（木材・ネジなど1式用意します）
そして、ご自分のおうちの近くで蜂さんを待ちます。
- *昼食は高橋あけみさんの旬の野菜の美味しいお弁当です。
<持ち物>金槌・インパクト・電気ドリルなどの工具・軍手
巣箱観察の時の面布（虫除けあみ）・寒くない服装（工具などない場合はお問い合わせください）

- 日 時：2月23日（日）10：00～16：00
- 会 場：大山田ノンフェール・くらねえ（旧大山田小学校）
（那須郡那珂川町大山田下郷955）
- 料 金：組合員 大人7500円
一 般 大人8000円
（講習代・待ち箱の材料一式・昼食代・保険代を含みます）
- 定 員：先着10組様までの受付とさせていただきます。
- 主催・連絡先（申込先問合せも同じ）
里山和蜂日和 堀江博子 TEL 090-2316-4241

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

- 伊勢崎** 伊勢崎友の会創立60周年記念講演会
- イベント 「ガラクタのない家」
幸せをつくる整理術
～日々軽やかに心豊かに暮らしたい～
「心を整える住まい」一緒に学んでみませんか？
井田典子（整理収納アドバイザー）
 - 日 時 2月25日（火）10：00～11：30
 - 場 所 境総合文化センター小ホール
（群馬県伊勢崎市木島818）
 - 入場料 700円（当日800円）
 - 託 児 先着10名※要予約（保険料100円）1歳以上
1歳未満のお子さんはお母さんと一緒に会場内へ
 - 主 催 伊勢崎友の会
 - 問合せ・チケット購入・託児申し込み
友の家 TEL/FAX 0270-25-9055
（月・木 10：00～12：00）
平田 ショートメール 090-9179-7521

- 宇都宮**
- イベント 映画「Workers 被災地に起つ」
 - 日 時 3月8日（日）
①10：00～ ②14：00～
 - 会 場 とちぎ福祉プラザ 3F 福祉研究室
（栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号）
 - チケット 前売券1000円 当日券1500円
 - 定 員 各回150名*前売り券の方優先です。
障がいのある方、高校生以下800円
 - 内 容 そこに困った人あれば、笑顔になれる場を作る。悩む人あれば、想いをひとつに共に汗を流す。支えたいと思っていたら、いつの間にか支えられていた。「ひとり1人の願い」をカタチにする新しい働き方!?地域の底から、社会を作る。これは被災地、そして二ホン元気にする“まちづくり”の物語。
 - 問合せ先 一般社団法人日本社会連帯機構北関東地方委員会
TEL 028-611-3544（担当：小白井、青木）
TEL 080-9020-6210（担当：人見、坂本）

- 宇都宮**
- イベント 世界ダウン症の日
JDS 栃木支部啓発展
 - 日 時 3月18日（水）～20（金・祝）10：00～18：00
（初日11：00～ 最終日16：00まで）
 - 会 場 ショッピングモール ベルモール
カリヨンプラザ（栃木県宇都宮市陽東6-2-1）
 - 料 金 観覧無料
 - 主 催 日本ダウン症協会栃木支部（つくしの会）／栃木県
 - 問合せ 饗庭久美子 TEL 028-634-7435

- ◆ダウン症をもつ人たちの写真展
 - ◆本人たちの作品展（裂織・絵画・工作・書道など）
 - ◆さをり織り体験コーナー
11：00～13：00／14：00～16：00（最終日は午前のみ）
 - ◆20日（金・祝）14：00～ 歌とダンスのミニステージ
「岡倉ゆかりさんとつくしの仲間たち♪」
岡倉ゆかりさん：那珂川町よろこびの森の音楽家
- ※さをり織り体験の時間は、予告なく変更することがあります。
※当日アンケートに答えていただいた方にはオリジナルクリアファイルをプレゼントいたします。（なくなり次第終了）

WORLD DOWN SYNDROME DAY

3月21日は世界ダウン症の日

2012年から、国連が国際デーの一つとして3月21日を「世界ダウン症の日」に制定しました



◆一日の流れ◆

- 10:00 その日に試食・評価する新商品について、商品部職員から説明を受けます。
1か月先に発行する「くらら」の原稿もチェックします。
- 11:00 商評委員が、新商品の調理をします。
- 12:00 商評・産直委員と職員で試食し、「味」「規格」などを評価します。
- 13:00 新商品やくららについて、担当職員と協議します。

よつ葉生協をもっともっと魅力的にしていけるのは、あなたの参加です。お待ちしております！

委員募集については、P4をご覧ください！

2020年度の業務関連委員会メンバーを募集します。

●商品評価委員会

「くらら」の商評担当ページ（魚介・豆腐・総菜・パン・菓子・飲料・調味料・石けん等雑貨）のチェックをします。組合員の目で新商品の調理、試食、評価をします。商品の原料も詳しく知ることができ、商品部の担当者と直接話もできます。

調理はどなたでも簡単にできるものを、交代で作りますので気軽にご参加ください。

- 活動日時：毎週火曜日 10:00～14:00
- 募集人数：若干名
- 活動謝礼として商品代金より2000円補助＋交通費

●産直委員会

「くらら」の産直担当ページ（野菜、果物、米、精肉、牛乳、卵）のチェックをします。商品のよさやこだわりを商品部職員から聞き、組合員の目で見てもわかりやすいように伝わっているか検討します。

お昼には、商品評価委員会と一緒に、新商品の試食をします。年に数回、産地訪問をし、よつ葉だよりで報告します。

- 活動日時：毎週火曜日 10:00～14:00
- 募集人数：若干名
- 活動謝礼として商品代金より2000円補助＋交通費

業務関連委員会は、よつ葉生協の商品に深く関わる活動を行っています。多くの組合員さんに参加していただくため、期間は1年間で、学校が休みの時期や祝日も活動があります。応募者多数の場合は抽選となる場合もありますので、ご了承ください。

参加される組合員さんへは、各委員会の担当者から3月20日（金）までにご連絡いたします。申込書には、連絡のとれる電話番号を必ずご記入ください。

※くららやよつ葉だよりに、委員さんの声として感想を書いたり、写真やお名前が出ることもあります。

- 活動期間：2020年4月～2021年3月まで
※組合員活動謝礼として、

商品購入補助費＋交通費を支給します。

- 場 所：よつ葉生協（栃木県小山市栗宮1223）
会議室 その他

- 応募条件：よつ葉生協の組合員で継続的に商品を購入している人

- 締切日：2020年3月6日（金）

- お問い合わせ：よつ葉生協 組合員活動室 須田
TEL 0120-07-1613

- 下記の共通申込書でお申込みください。

（希望の委員会にチェックを入れて、会員コード、氏名、住所、電話番号を記入してください）



暮楽々委員会は活動をお休みします。

共通申込書

希望する行事名に してください

商品評価委員会

産直委員会

会員コード	氏 名
住 所	
連絡のつきやすい電話番号☎	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ()

託児：6カ月以上のお子様から	人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー	無・有 ()

備考欄

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (1月5週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	7,200
震災孤児を支援する募金 (910番)	17,600
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	7,400
合 計	32,200

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口100円の募金になります。

- 編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

